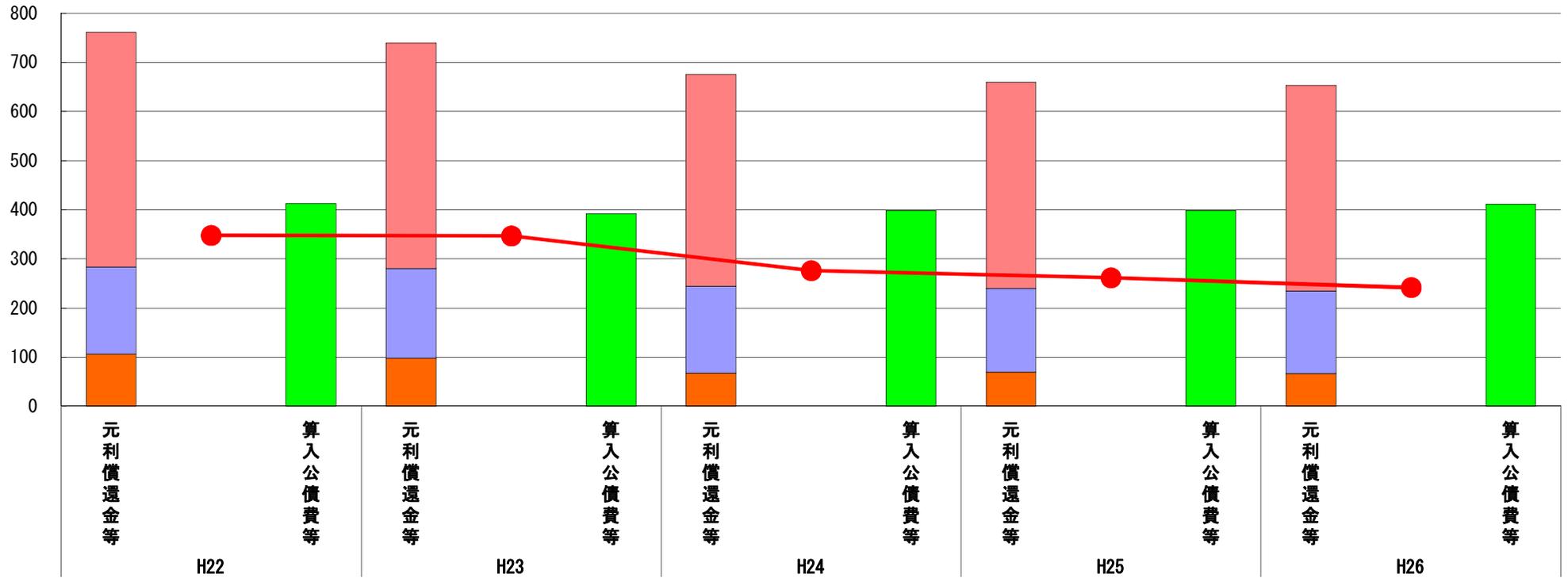


# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

宮城県大郷町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等 (A)	元利償還金		477	458	431	420	418
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		178	183	176	170	168
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		106	98	68	70	67
	債務負担行為に基づく支出額		0	0	0	0	0
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		413	392	398	398	411
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		348	347	277	262	242

## 分析欄

実質公債費比率は年々減少し平成25年度は9.9%となっている。  
 元利償還金も年々減少しており、地方債の新規発行抑制によるものと思われる。  
 また、公営企業債の元利償還金に対する繰入金も年々減少傾向にある。  
 しかしながら、今後、町道改良工事、統合小学校建設等に係る起債償還が見込まれており、地方債の新規発行抑制等引き続き健全化の維持に努める。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。